

🐾 地域猫活動のQ & A

1. 餌やりを禁止すればよいのでは？

確かに、不適切な餌やりに起因する飼い主のいない猫の問題が多いのは事実です。そういった問題を解決するために、不適切な餌やりを規制する自治体も増えてきています。しかし、単に餌やりを禁止しても、感情的に対立し、隠れて餌やりをするようになることで問題が解決しないことが多いようです。

地域猫活動が行われているところの多くは、不適切な餌やりをしていた人と話し合いを重ね、猫に不妊去勢手術を実施し、ルールに従って餌やフンの管理をする、という役割を担ってもらう方法をとっています。

2. 「地域猫」って、地域で猫を飼うことじゃないの？

いわゆる「地域猫活動」というのは、不妊去勢手術をして子猫を産まないようにし、地域のみんなが合意の上でその猫の一代限りの生を全うさせることで、将来的に飼い主のいない猫をなくしていくことを目的とした活動のことです。これがいつのまにか、「地域で猫を飼うこと」といった意味で使われたり、不妊去勢手術さえしていれば「地域猫」であると主張したり、言葉が一人歩きしていることもあるようです。

地域ですっと猫を飼っていくということであれば、猫による被害を受けている人は納得できないのではないのでしょうか。地域猫活動を進めていくためには、「将来的に猫を減らし、周辺環境を良くしていく」という地域みんなの利益を示さなければ、理解を得るのは難しいでしょう。

3. 「地域猫活動」をすればすぐに猫がいなくなる？

猫の繁殖力は非常に強く、年に2～3回妊娠し、1回の出産で3～5匹の子猫を産むことができると言われています。そのため、不妊去勢手術によって猫の数を減らすためには、地域にいる猫の大半に手術を実施する必要があります。しかし、警戒心が強く捕獲できない猫がいたり、他の地域からの流入猫もいることでしょう。また、給餌をすることで猫の栄養状態が良くなり、寿命が延びることも考えられます。多くの場合、正しい手順で地域猫活動を行ったとしても、効果があらわれるまでには、かなり長い時間が必要となります。

従って、地域猫活動を行う前には、十分に学習し、間違った知識や期待を捨て、長期にわたって取り組む必要があることを理解すると同時に、当面の間はこれ以上猫を増やさず、不適切な餌やりによる迷惑を防ぐことが目的となることを理解しておきましょう。



東大阪市では、猫の不妊・去勢手術費用の一部を助成しています。
東大阪市では、野良猫の捕獲は行っていません。

東大阪市食品衛生課 072-960-3803
東大阪市動物指導センター 072-963-6211

飼い主のいない猫問題 どうすればいいの？

最近猫が増えている…

敷地内にフンやオシッコをされる！

ゴミが荒らされる！

鳴き声がうるさくて眠れない！

車に乗られてキズをつけられた！



地域の問題として取り組む方法があります。

それが「**地域猫活動**」です！

地域猫活動とは？

地域住民の合意・協力にもとづいて、一定のルールをつくって猫を管理していくことで、将来的に飼い主のいない猫をなくしていく取り組みです。

具体的には？

1. 不妊・去勢手術の実施

猫は年2～3回出産します。猫の繁殖を防ぎ増えなくするだけでなく、マーキングの臭いや繁殖期の鳴き声が少なくなります。

2. 給餌のルール決定、猫用トイレの設置と管理

給餌のルールを定め（時間や場所／置き餌の禁止／周辺清掃など）、また、トイレの設置場所や個数、掃除の時間を決めましょう。

3. 猫の状況の把握と譲渡の推進

地域で適正に猫を管理していきながら、徐々に数を減らしていくためには、猫を飼うことができる人を募集し譲渡していくことも大切です。



詳しくは次のページへ▶

「地域猫活動」は どうして 必要なの？

野良猫で迷惑している

- ・ ぶん尿で困っている
- ・ 子猫が増えて困っている
- ・ 食べ残したエサが不衛生である
- ・ 鳴き声がうるさい

かわいそうな猫を助けたい

- ・ おなかをすかせた猫がかわいそう
- ・ エサを与えたいが猫が増えると困る
- ・ 飼いたいけど飼うことができない
- ・ 猫のために何かしたい

猫の迷惑を減らしたい

かわいそうな猫を減らしたい

野良猫を減らしたい！

共通の願い

そこで…

地 域 猫 活 動

今いる野良猫と上手に付き合いながら、その数を減らしていく方法として地域猫活動が考案されました。

地域住民	ボランティア	行政
<ul style="list-style-type: none"> ・ 猫について、地域の問題として考える ・ 活動の主体となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民の相談を受け、活動のサポート・助言などを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域猫活動の相談 ・ 地域の対策に沿った支援をする

地域猫活動のメリットと課題

メリッ
ト

- 不妊去勢手術をすることで、
 - ・ 新たな子猫が産まれない
 - ・ スプレーによる尿の臭いが減る
 - ・ 繁殖期のうるさい鳴き声が減る
 - ・ 猫の行動範囲が狭くなる
- 給餌をルール化することで、エサの散乱、ゴミあさりを防ぐことができる
- トイレの設置と管理により、ぶん尿の被害が減る
- 活動がきっかけとなり、地域のコミュニケーションが生まれる

課
題

- 効果が現れるまでに、多くの費用と長い期間がかかる
- 捨て猫や他の地域からの流入などにより、猫の数が減らないことがある
- 地域の理解を得るのが難しい
- 動物由来感染症のリスクがある
- 活動が中断した場合、行き場のない猫が生じる

地域猫活動のながれ(例)

活動グループの結成

周辺で猫のことを気にかけている方や、ボランティア活動を通して多くの経験を積んでいる方々などを募りましょう。

活動ルールと計画づくり

給餌のルールやトイレの場所、掃除の方法を決めたり、グループでの役割分担、苦情対応、活動資金などについてルールを作成します。



不妊去勢手術の実施

対象となる猫を捕獲し、不妊去勢手術を実施します。手術済みの猫の耳にはV字カットを施し、元の場所に戻します。



地域猫から飼い猫へ(譲渡)

猫を屋内で飼養してもらえ新しい飼い主を探すことで、より早く飼い主のいない猫を減らすことができます。



地域の現状や対象猫の把握

地域で何が問題になっているのか、どんな対策が必要かを整理します。

- 苦情・被害の状況は？
- どれくらいの猫がいるのか？
- 飼い猫か野良猫か？

地域住民に説明、同意を得る

活動グループの方、自治会、活動に反対の方など、さまざまな立場の人に活動の趣旨を説明し、理解・協力を求めましょう。



活動ルールの実施と猫の管理

- 水・エサの管理
- 猫用トイレの設置・管理
- 周辺の清掃
- 猫カルテの作成
- 苦情等への対応



地域の皆さまへのお知らせ(活動報告)

地域猫活動には、周辺住民の理解・協力が不可欠です。回覧板や掲示板などに、代表者と連絡先を明記するとともに、実施状況などを地域の皆さんに定期的に報告しましょう。

ポイント：取り組みを成功させるために

- 給餌は適切な方法で行い、周辺住民の生活環境に悪影響を及ぼさないよう気をつけましょう。
- 猫の被害で困っている人や、動物が苦手な人の立場を尊重し、苦情には真摯に対応しましょう。また、その内容は記録として残しておくことで役に立ちます。